

世田谷区立明正小学校

開校 65 周年
児童数 850 名

<http://school.setagaya.ed.jp/mei>



学校のとたりは 成城の里山



サワガニを発見



ヤゴも多く見つかる



カブトムシの幼虫



湧水はいつも一番の人気スポット

■学校紹介

世田谷区立明正小学校は、東京都世田谷区の西端、小田急線成城学園前駅の近くにあります。国分寺崖線の高台に建つ校舍3階から南を向くと遠く多摩川の流れと富士山を仰ぐことができます。

■成城三丁目緑地

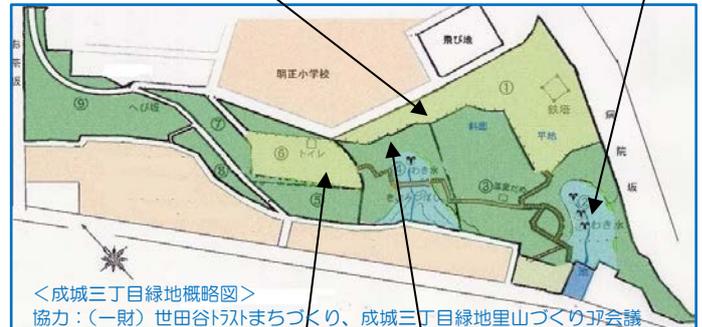
学校に隣接する「成城三丁目緑地」は約2ヘクタールの広さがあり、2か所の湧水と20m以上の高低差をもつ起伏に富んだ緑地です。これは多摩川が10万年以上かけて武蔵野台地を削り取ってきたもので、江戸時代には御料林（皇室の所有地）でした。周辺の雑木林は地域の人々に薪炭林として活用され、崖から湧き出る豊かな湧水は水田にも利用されてきました。現在は世田谷区内の希少な動植物の生息地であり、四季折々の景色が身近に楽しめる国分寺崖線の貴重なみどりの資産です。

■活動のようす

里山保全活動を行う地域のボランティアグループの方々と一緒に、生活科や総合的な学習の時間、特別活動、理科などで1年間を通して自然の中での活動を行っています。

低学年はネイチャーゲームや散歩で里山に親しみ、中学年は落葉かきや竹コップ作りで里山の恵みを感じ、高学年はボランティアの方々から里山の講演を聞き、ササ刈りや腐葉土運びなどの体験活動を通じて理解を深めています。クラブ活動の「アウトドアクラブ」は里山での活動を行うことができ大人気です。

18年前から続くこの活動は都市型の里山づくりとして価値あるものです。子どもたちがボランティアマインドを学ぶよい機会になっており、持続可能な社会づくりにつながると期待しています。



■学校の森 子どもサミット

7月に福井県で行われた「学校の森 子どもサミット」に5年生有志が参加しました。今年は、全国10校から集まった子供たちが、身近な森林環境学習の発表をし合い、寝食を共にして意見交流や体験活動などを行いました。

明正小は、成城三丁目緑地の里山に親しんでいる各学年の活動や、川場移動教室について報告しました。北海道から屋久島まで参加校それぞれの取組から大変良い刺激をもらいました。2日目は、汽水湖である久々子湖（くぐしこ）で生き物調査等を体験し、多様性や相互性など環境への学びを深めることができました。



竹を枝打ちして そだたばづくり



春のタケノコほり



竹はコップやひしゃくに活用



里山講演会

学年	学習活動例	ねらい
1	七夕笹飾り・ネイチャーゲーム	里山を歩き、いろいろな感覚で自然を感じる
2	里山ウォッチング	里山に親しみ、里山や竹林から恵みをいただく
3	タケノコ掘り・落葉かき	里山への理解を深め、守り、育てる
4	竹の枝打ち・竹コップ作り	
5	里山講演会・里山学習	
6	アズマネザサ刈り・腐葉土運び	